

【都道首都高速7号線(改築)及び附属街路第3号線、第4号線】

小松川ジャンクション 事業の概要



※この図は完成イメージです。



ひと・まち・くらしをネットワーク
首都高速道路株式会社

※新設されるジャンクション及び入口の名称は全て仮称です。

事業の概要

- 中央環状線の埼玉方面と7号小松川線の千葉方面を結ぶ連結路を設置します。
- 小松川出入口において中央環状線（埼玉方面）との出入りが可能となるよう、入口を追加するとともに、現在の出口を7号小松川線の北側に付替えます。
- これらの整備に伴い、附属街路第3号線、第4号線を拡幅などして付替えます。

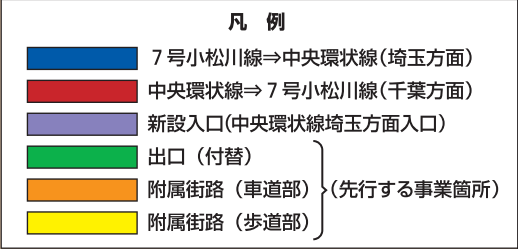
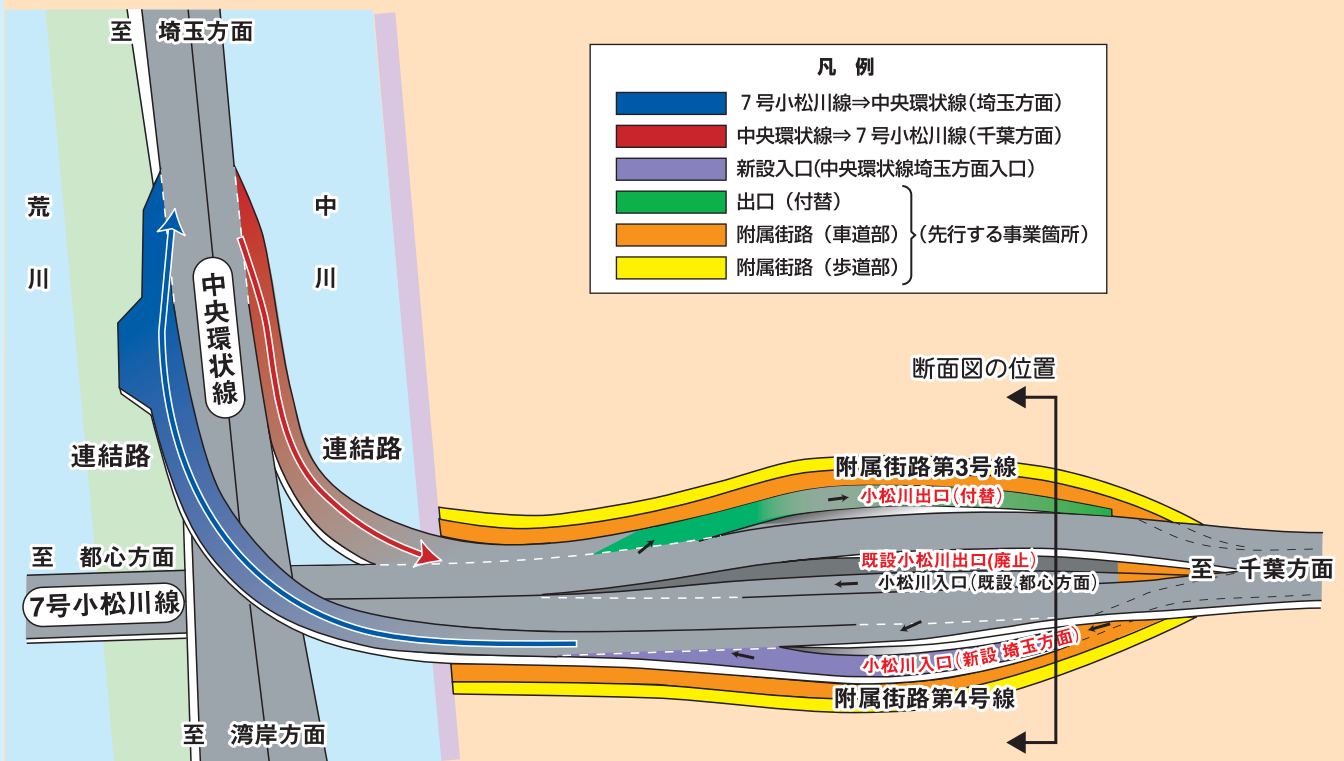


【ジャンクション計画の諸元】

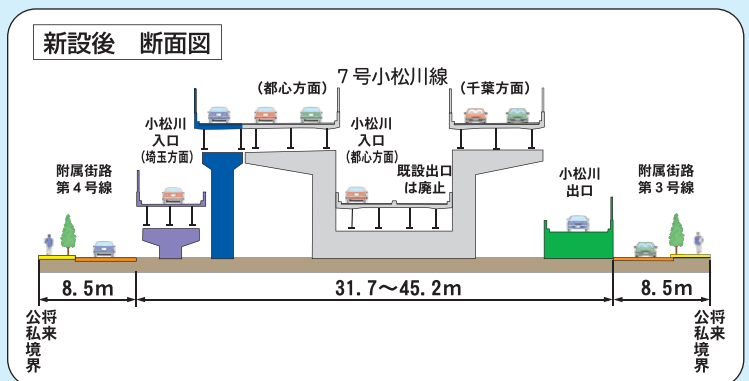
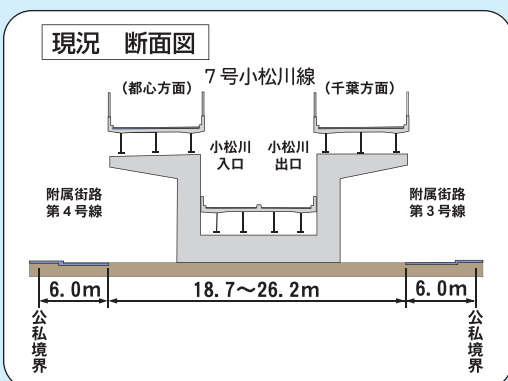
- 連結路の規格: A規格ランプ
- 連結路延長: 約700m (7号小松川線⇒中央環状線)
: 約280m (中央環状線⇒7号小松川線)
- 車線数: 1方向1車線
- 料金所: 1箇所
- 設計速度: 40km/h
- 出入口: 小松川入口(新設)、小松川出口(付替)

【附属街路計画の諸元】

- 延長: 360m (第3号)、380m (第4号)
- 車線数: 1方向1車線
- 設計速度: 30km/h

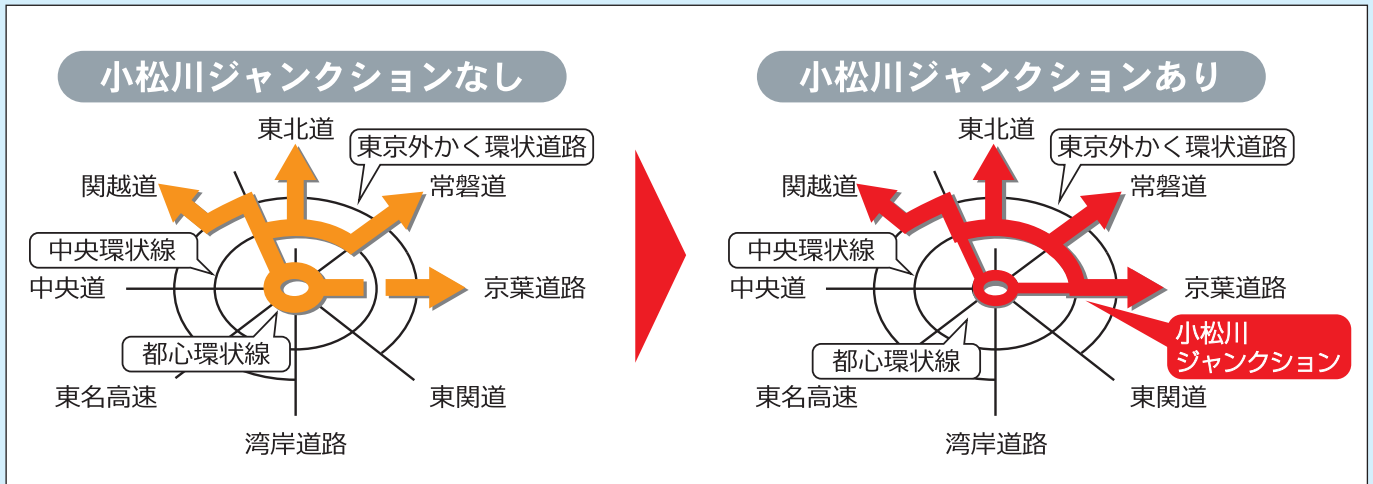


※中央環状線(埼玉方面)には、新設の小松川入口をご利用下さい。
 ※都心環状線方面には、既設の小松川入口をご利用下さい。



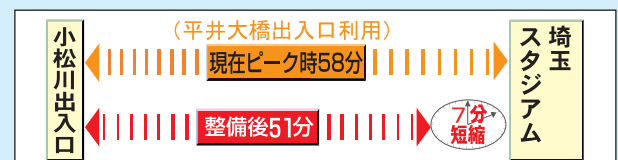
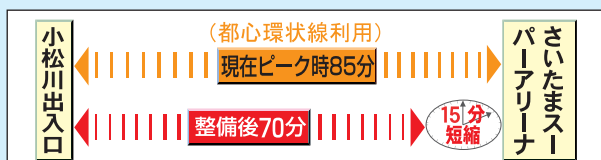
■ 事業の役割・・・中央環状線の機能強化のために

- 中央環状線は、平成25年度に全線完成予定であり、完成後は都心部に集中する交通の迂回・分散が図られ、渋滞の緩和に大きく寄与することが期待されています。この中央環状線の機能を十分に発揮させるために、現在接続されていない中央環状線と7号小松川線を連結する小松川ジャンクションを設置するものです。
- 特に中央環状線の関越道・東北道方向と7号小松川線の京葉道路方向は交通需要が多いと予測されており、この方向を結ぶ連結路が設置されることにより、首都高道路ネットワークがより強化されます。



■ 小松川ジャンクションができることで・・・高速道路では

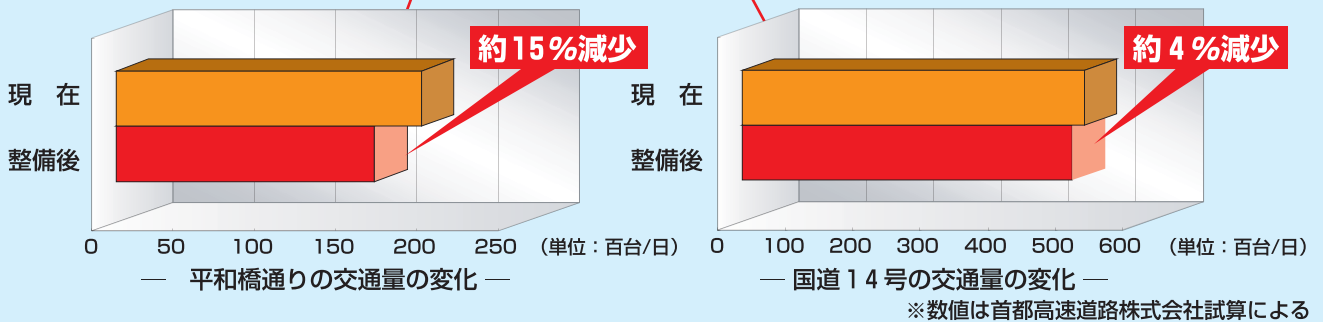
- 7号小松川線で交通規制や交通渋滞が起こっても、中央環状線等を経由した複数の経路選択が可能となるため、道路ネットワークの信頼性が向上します。
- このことにより、下の例のように小松川出入口周辺と埼玉方面との行き来が便利になります。



※数値は首都高道路株式会社の試算による

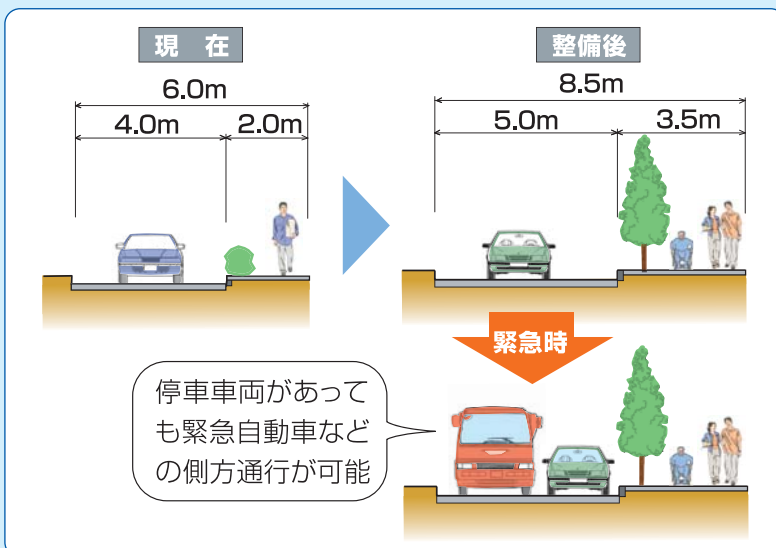
■ 小松川ジャンクションができることで・・・一般道路では

- 小松川ジャンクションができることで、これまで一般道路を利用して中央環状線と京葉道路を乗り継いでいた交通が高速道路を利用することが可能になり、その結果、周辺道路の交通量が減少します。



■ 附属街路が広がることで・・・

- 車道幅員が広がり、火災時の消防活動や救命活動など、災害・緊急活動の円滑化に役立ちます。
- 歩道幅員が広がり、車椅子をはじめ、歩行者や自転車のすれ違いなど、歩道の環境が大幅に改善されます。
- 広がった歩道部に、景観に配慮した植樹を行うことで沿道環境が向上し、周辺環境保全にも役立ちます。



▲首都高速道路下にある
小松川境川親水公園遊歩道

位置図

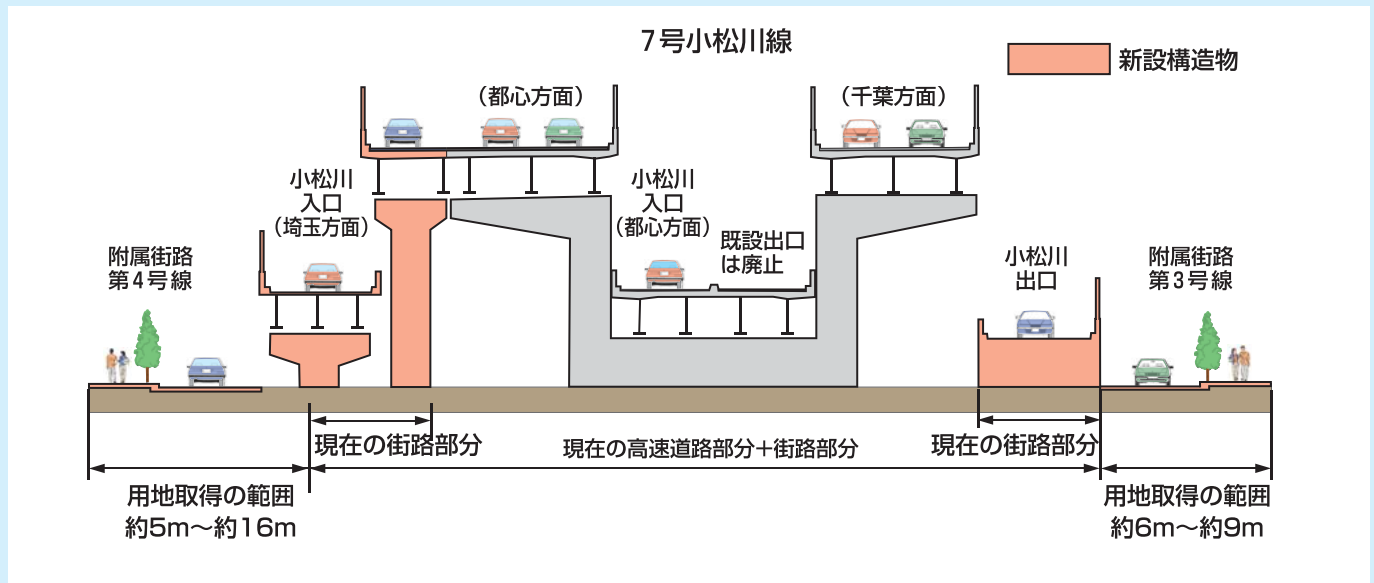


(航空写真で見るジャンクションの計画位置)



■ 用地取得について

● 工事にあたり、ジャンクション及び附属街路の計画内の土地をお譲りいただくことになります。

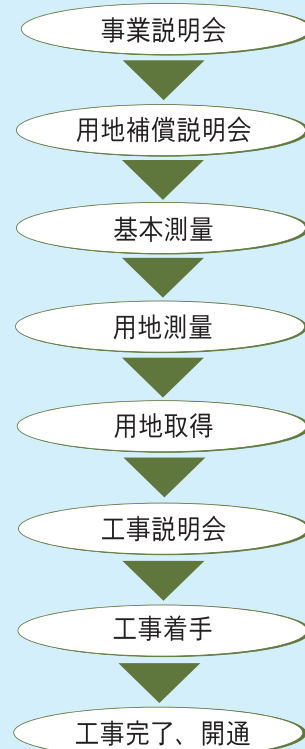


■ 事業の手続き

7号小松川線都市計画認可等

項目	告示年月日
都市計画決定 (当初)	昭和34年 8月18日 (建設省告示第1553号)
都市計画 (変更) 決定 ※現在の小松川出入口追加	昭和42年 5月 6日 (建設省告示第1594号)
7号小松川線開通	昭和46年 3月21日
(首都高速道路公団民営化)	平成17年10月 1日
国土交通大臣による事業許可	平成18年 3月31日 (国土交通省国道有第137号)
都市計画 (変更) 決定	平成22年 3月 5日 (東京都告示第256号)
都市計画 (変更) 事業認可 ※一部先行部分	平成23年 3月 7日 (東京都告示第269号)

事業の流れ



お問い合わせ先



首都高速道路株式会社
www.shutoko.jp

東京建設局 改築推進グループ

TEL: 03-5434-7807

〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-3

受付時間 (平日) 10:00~17:00

このパンフレットは再生紙を使用しています。
発行月: 2011年6月